

授業科目名	腫瘍学
科目番号	
単位数	2 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	秋 AB 月 4, 火 4
担当教員	野口雅之、入江賢児、加藤光保、久武幸司、櫻井英幸、佐藤幸夫、千葉滋、兵頭一之介、増本幸二、南学、大林典彦、鈴木裕之、溝上裕士、高屋敷典生、河合弘二、齋藤祥子、坂本規彰、坂下信悟
授業概要	がんの疾患概念、原因、発生と進展の機序について分子のレベルで理解するとともに、これらの知識がヒト腫瘍の診断治療にいかに応用されているかを学習する。基礎知識の習得を目的としながら、最新のがん研究（基礎）・診断治療（臨床）のトピックスについても取り上げる。悪性腫瘍の定義、病因、進展のメカニズムを学ぶ。悪性腫瘍の診断、治療の基盤も理解する。
備考	英語で授業
授業形態	講義
教育目標との関連	本科目では、健康安全保障を医学の腫瘍学的側面（基礎と臨床の双方を含む）で理解する。
授業の達成目標	腫瘍の病因、悪性化の機構、および診断治療の基本を説明できる。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 腫瘍の概念と定義（加藤光保）</li> <li>2. 細胞周期、がん遺伝子、がん抑制遺伝子（加藤光保）</li> <li>3. 化学発がん（鈴木裕之）</li> <li>4. ウイルス発がん（齋藤祥子）</li> <li>5. 細胞増殖（大林典彦）</li> <li>6. 転写とがん（久武幸司）</li> <li>7. 増殖抑制、老化（鈴木裕之）</li> <li>8. 細胞間接着と細胞運動（入江賢児）</li> <li>9. アポトーシスとがん（鈴木裕之）</li> <li>10. 幹細胞と発がん（加藤光保）</li> <li>11. 腫瘍診断学Ⅰ（内視鏡診断）（溝上裕士）</li> <li>12. 腫瘍診断学Ⅱ（放射線診断）（南学）</li> <li>13. 腫瘍診断学Ⅲ（組織・細胞診断）（高屋敷典生）</li> <li>14. 腫瘍診断学Ⅳ（遺伝子診断）（野口雅之）</li> <li>15. 腫瘍治療学Ⅰ（化学療法・分指標的治療）（兵頭一之介）</li> <li>16. 腫瘍治療学Ⅱ（放射線治療）（櫻井英幸）</li> <li>17. 腫瘍治療学Ⅲ（手術療法）（佐藤幸夫）</li> <li>18. 造血器腫瘍と骨髄移植（千葉滋）</li> <li>19. 生殖器・泌尿器の癌（河合弘二）</li> <li>20. 小児のがん（増本幸二）</li> <li>21. 消化器の癌（野口雅之）</li> <li>22. 神経系の癌（坂本規彰）</li> <li>23. 婦人科の癌（野口雅之）</li> <li>24. 呼吸器の癌（坂下信悟）</li> </ol>
履修条件	
成績評価方法（割合・評価基準・提出期限等）	点数配分は出席時の質疑応答状況（50%）と学期末レポート（50%）とする。A+（きわめて優秀）、A（優秀）、B（到達目標を達成している）、C（到達目標を最低限達成している）、D（到達目標を達成していない）で評価する。
授業外における学習方法	授業内容を復習すること
教材・参考文献・配付資料等	別途通知
オフィスアワー	担当教員： 野口雅之 電子メール： nmasayuk@md.tsukuba.ac.jp 担当教員： 加藤光保

	電子メール：mit-kato@md.tsukuba.ac.jp 学生は事前に問い合わせのこと
その他（学生に望むこと等）	
関連科目	ガンの生物学 生体分子の細胞ネットワーク 栄養・生体制御と主要疾患
キーワード	ガン、分子細胞生物学、臨床、診断、治療